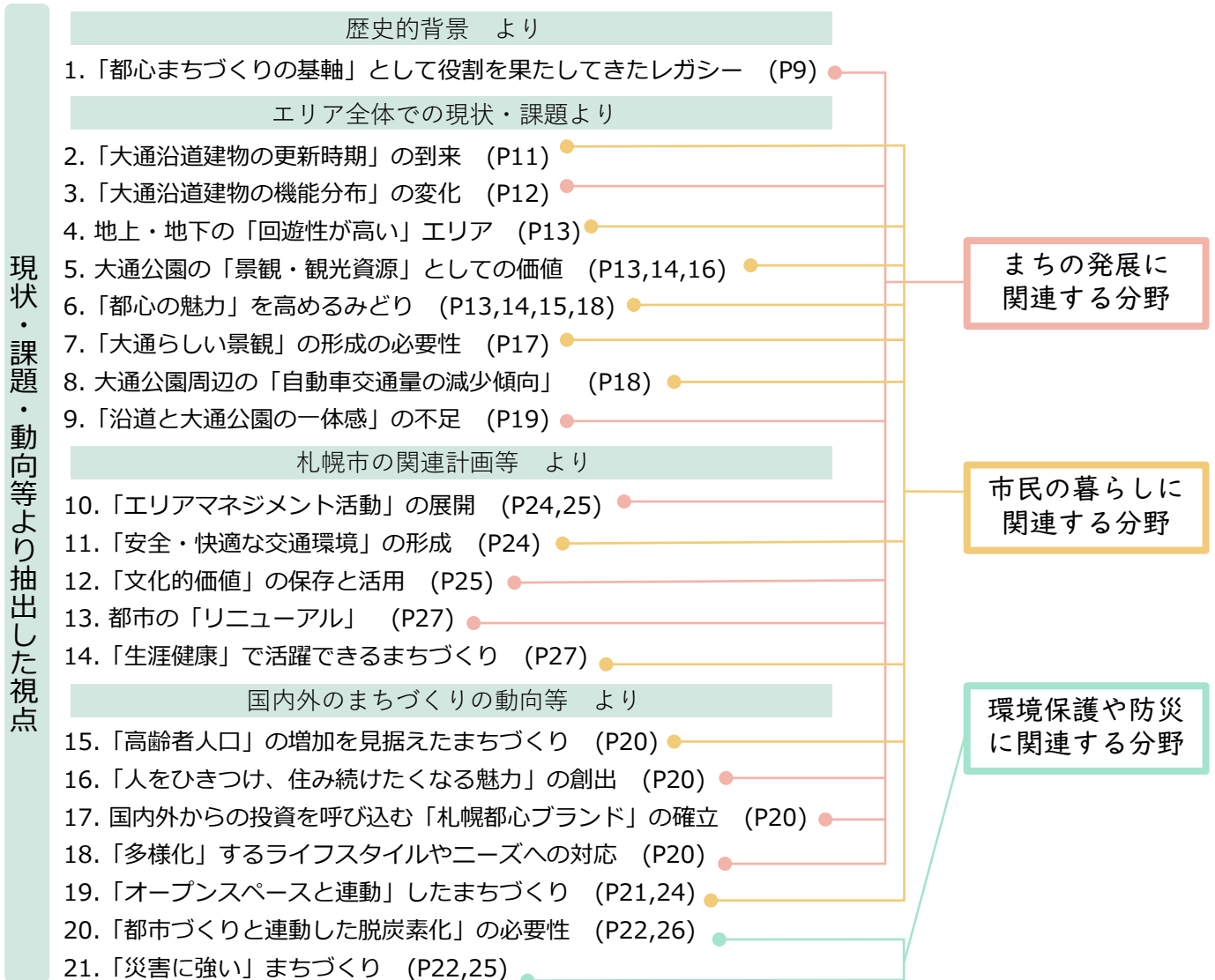


第3章 「はぐくみの軸」全体の強化方針

3-1. 重視すべき視点と目指すべき将来像

この章では、前章で、歴史的背景、エリア全体での現状・課題、参考とすべきまちづくりの動向、関連する上位計画などから抽出した視点を、関連性があるもの同士で分類し、そこから、「はぐくみの軸」全体の将来像を設定するための「重視する視点」を設定します。

その上で、「現状・課題・動向等より抽出した視点」、「重視する視点」及び「はぐくみの軸沿道まちづくりの理念」を踏まえ、12個の「目指すべき将来像」を設定します。



現状・課題・動向等より抽出した視点を上位のとおり3つの分野に分類し、内容を要約してまとめ、目指すべき将来像の柱となる「重視すべき視点」とします。

現状・課題・動向等より抽出した視点の分析を踏まえた「重視すべき視点」の設定

まちの発展に関する分野	市民の暮らしに関連する分野	環境保護や防災に関連する分野
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今後も「都心まちづくりの基軸」としての役割を担っていく ✓ 時代に合わせたまちづくりを進め、市民が「はぐくみの軸」を札幌ならではの貴重な財産として、より愛着を感じられるよう魅力を高めていくことが必要 ✓ 高めた魅力を国内外に発信し、活力投資を呼び込んでいくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者人口の増加や、地方移住への関心の高まり、働く環境への意識の変化がある ✓ みどりに囲まれ、誰にとっても安全・安心で居心地の良い「はぐくみの軸」ならではの都市空間を形成し、市民のより快適で豊かな暮らしを実現していくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地球温暖化とこれに伴う気候変動など地球環境問題は日々深刻化している ✓ 大地震や洪水といった自然災害への対応が求められていることから、「はぐくみの軸」の資源を活かした、環境にやさしく災害に強い、持続可能なまちづくりを進めていくことが必要

視点Ⅰ

市民の愛着の醸成と
魅力の発信

視点Ⅱ

より快適で
豊かな暮らし

視点Ⅲ

持続可能な
まちづくり

「現状・課題・動向等より抽出した視点」、「重視する視点」及び「はぐくみの軸沿道 まちづくりの理念」を踏まえ、12個の「目指すべき将来像」とその将来像を端的に表すキーワードを設定します。

「はぐくみの軸」沿道
まちづくりの理念

150年間で育まれてきた大通の価値を再認識し
100年先の未来を“はぐくむ”

踏まえる

重視すべき視点	目指すべき将来像	キーワード
Ⅰ 市民の愛着の醸成と 魅力の発信	① 大通がもつ札幌都心の象徴性が継承されている	象徴性
	② 大通ならではの文化・魅力・活力が育ち世界から投資や人材を呼び込んでいる	創造性
	③ 大通らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている	ライフスタイル
	④ 時代の流れに柔軟に対応した官民協働のまちづくりが進められている	まちづくり
Ⅱ 豊かな暮らし より快適で	⑤ 大通公園や沿道の公共的空間などが全ての人々にとって居心地の良い場として親しまれている	ユニバーサル
	⑥ 訪れる人の心身の健康を増進させる環境が整っている	健康的な暮らし
	⑦ 大通沿道の一体的な空間を、安全・快適に楽しく回遊できる	居心地がよく歩きたくなるまち
	⑧ 東西に長い大通を快適・円滑に移動することができる	快適な交通環境
	⑨ 大通の資源を活かしたはぐくみの軸ならではの景観が形成されている	都市の景観
	⑩ 大通公園を中心に連続的にみどりの空間が形成されている	みどり
Ⅲ 持続可能な まちづくり	⑪ 2050年のゼロカーボン都市の実現に向けた先進的な取組が進められている	脱炭素化
	⑫ 大通の防災機能が強化されている	防災

次ページより、この12の『目指すべき将来像』とそれを端的に表すキーワードに紐づく、目指すべき将来像を実現させるための取組の方向を示します。

3-2. 将来像実現のための取組の方向

市民の愛着の醸成と魅力の発信

将来像①【象徴性】

大通がもつ札幌都心の象徴性が継承されている

大通は札幌のまちづくりを支える基軸としての役割を果たしてきました。「歴史的資源」「大通を介した東西・南北のまちのつながり」「沿道建物・道路・大通が一体となった空間」などを札幌都心の象徴性に関連する要素と捉え、以下の取組を通じて機能の向上等を図ることにより、都心全体のまちづくりを連結させる軸としての役割と札幌都心の象徴性をより高めることを目指します。

<取組の方向>

- a: はぐくみの軸周辺にある歴史的資源の価値を保存・活用する。
- b: 南北の回遊性向上や東西の軸性の強化を図る。
- c: 沿道建物・道路・大通を一体的な空間として捉えられるような機能配置や運用ルールなどの仕組みの整備を行う。

イメージ作成中

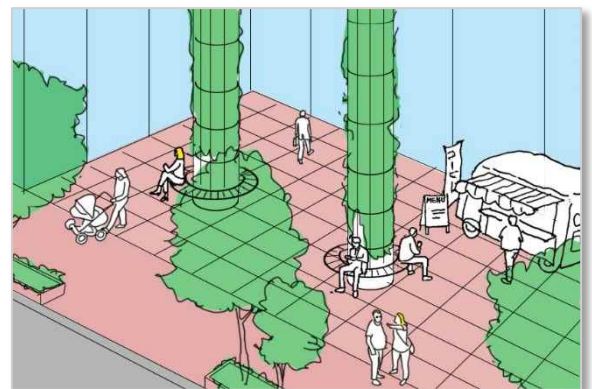
将来像②【創造性】

大通ならではの文化・魅力・活力が育ち、世界から投資や人材を呼び込んでいる

対象エリアは東西約2.5kmにわたっており、場所ごとに異なる地域特性を有していることから、様々な活動を受け入れる多様な空間の形成や都市機能の導入を図ることができる可能性を持っています。以下の取組により、様々な空間や機能が連続していくことで、大通ならではの”都市のブランド”が育っていくことを目指します。

<取組の方向>

- a: 公有地や低・未利用地の活用、既存の都市基盤施設・公開空地の利活用を図る。
- b: 地域の特性を活かして、まちの魅力を高める活動の促進や、建物の用途・機能の誘導を図る。
- c: 大通公園の魅力をさらに高める。



将来像③ 【ライフスタイル】

大通らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている

近年、生活環境に求められるニーズや個人のライフスタイルの在り方は多様化しています。日常的に訪れ利用する空間や大通公園に関する以下の取組が実現する事により、“大通らしい魅力的なライフスタイル”のイメージが広く醸成されて行くことを目指します。

<取組の方向>

- a: 四季を通じてだれもが利用できる大通公園との一体的な利用を意識したパブリックスペースを屋内外で創出し、日常利用の促進を図る。
- b: 建物用途や設えの工夫により、大通公園やまちに開かれた空間を創出する。
- c: 大通公園がもたらす日常の憩いとイベント開催などによる賑わいの両立を図る。



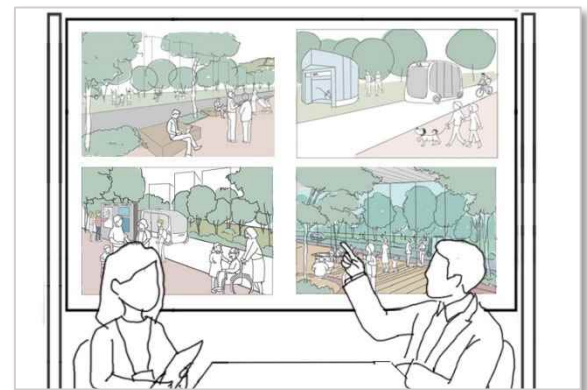
将来像④ 【まちづくり】

時代の流れに柔軟に対応した官民協働のまちづくりが進められている

まちの魅力を高めていくためには、既存の公共空間の柔軟な利活用を図るほか、施設整備等を検討する際には同時にその活用の在り方を探っていくことが必要です。以下の取組により、その場所をよく知った住民等の関係者と企業や行政等が連携して実験等を重ねることで、地域特性に馴染み、時代の流れに適応したまちづくりが進められることを目指します。

<取組の方向>

- a: 官民連携による実証実験を展開しながら、施策の検討を進める。
- b: 市民・企業・行政等が連携した活発なまちづくり活動を促進する。



より快適で豊かな暮らし

将来像⑤ 【ユニバーサル】 大通公園や沿道の公共的空間などが全ての人々にとって 居心地の良い場として親しまれている

札幌都心では地下歩行空間や地下街が発展しており、「はぐくみの軸」上も地上と地下の回遊性が高いエリアです。しかし、今後の高齢者人口の増加や生活スタイルの多様化などを見据えると、全ての人にとって快適な環境を整えていく必要があります。以下の取組により、誰もが気持ちよく利用できる環境の整備を目指します。

<取組の方向>

- a: 都市基盤施設を含むパブリックスペースや建物などのバリアフリー化や利便性の向上を進める。



将来像⑥ 【健康的な暮らし】 訪れる人の心身の健康を増進させる環境が整っている

生涯健康で活躍するためには、日頃からの心身の健康増進が重要です。以下の取組により、訪れる人が季節を問わず身体を動かすことができ、都心にいながら札幌の自然を享受できる環境を実現していくことを目指します。

<取組の方向>

- a: どの季節にも歩きやすい環境を創出する。
- b: 開発や建替に合わせて、大通公園の環境を建物内部に引き込む設えや、心身の健康増進に資する機能を導入する。

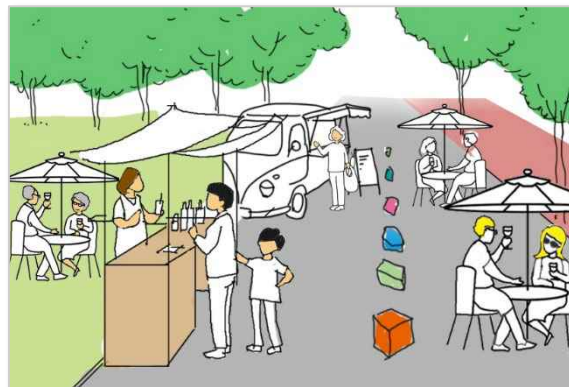


将来像⑦【居心地がよく歩きたくなるまち】 大通沿道の一体的な空間を、安全・快適に楽しく回遊できる

大通沿道の建物は更新時期が近付いているものが多く、今後、建て替えが進んで行く可能性があります。その際にはオープンスペースや道路空間の在り方なども考慮した、歩行者の為の空間づくりが必要になります。以下の取組により、大通沿道が一体となった、居心地がよく歩きたくなるまちを目指します。

<取組の方向>

- a:安全・快適な歩行者動線を確保する。
- b:憩いや賑わいの場としての道路空間の柔軟な利活用を検討する。

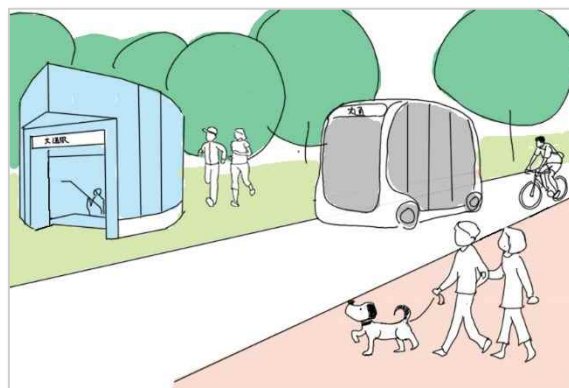


将来像⑧【快適な交通環境】 東西に長い大通を快適・円滑に移動することができる

「はぐくみの軸」は東西に長く、徒歩のほか、自転車、自動車、地下鉄、バスなど、多様な移動手段を選択できる場所です。周辺の自動車交通量など以前と比較して交通環境が変化していることなどを踏まえ、以下の取組により、大通沿道における快適で円滑に移動できる環境の実現を目指します。

<取組の方向>

- a:エリア内を快適に移動できる環境を整備する。



将来像⑨【都市の景観】

大通の資源を活かしたはぐくみの軸ならではの景観が形成されている

大通公園や周辺の歴史的資源は、景観・観光資源としても高い価値があります。今後新たな建物などによる景観の更新が図られる際は、以下の取組を通じて、周辺との調和を考慮しながら、「はぐくみの軸」ならではの景観形成を目指します。

<取組の方向>

- a: 大通公園や沿道の歴史的資源、周辺の街並みとの調和を考慮した、一体感のある景観形成を図る。
- b: 屋外広告物の掲出にあたっては大通沿道の景観に配慮する。



将来像⑩【みどり】

大通公園を中心に連続的にみどりの空間が形成されている

「はぐくみの軸」では、大通公園などの札幌都心の豊かなみどりを活かした都市のブランド力向上を図ることが可能です。以下の取組により、都心の魅力を高めるみどりが連続していくまちを目指します。

<取組の方向>

- a: 周辺のまとまったみどりや大通公園とのネットワーク強化を図り、みどりの質と量を向上させる。
- b: 大通公園と沿道のみどりとの一体的な繋がりを創出する。



持続可能なまちづくり

将来像①【脱炭素化】

2050年のゼロカーボン都市の実現に向けた先進的な取組が進められている

地球全体の課題である脱炭素化に向け、札幌市では令和2年（2020年）にゼロカーボンシティ宣言をしています。大通沿道で進む建物の更新の動きと連動して、以下の取組により脱炭素化を進め、持続可能な発展を目指します。

<取組の方向>

a: 建物の環境性能向上を図る。



将来像②【防災】

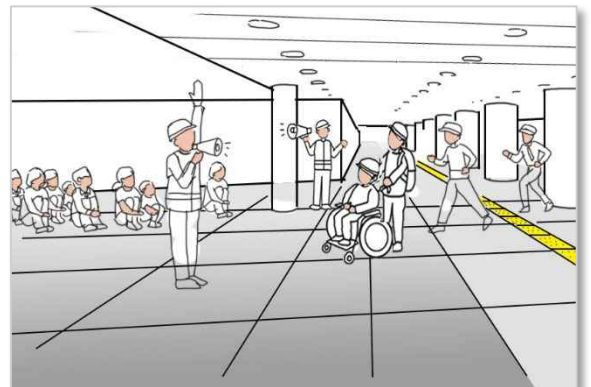
大通の防災機能が強化されている

札幌市では、平成30年（2018年）に発生した北海道胆振東部地震において大規模停電によるブラックアウトを経験し、災害に強いまちづくりの重要性を再認識しました。以下の取組により、「はぐくみの軸」の防災機能を強化していきます。

<取組の方向>

a: 施設の防災性能向上を図る。

b: 地域主体の防災の取組を進める。



第4章 ゾーン別の強化方針

4-1. ゾーン区分の設定

「はぐくみの軸」は東西に約2.5kmの長さがあるため、場所ごとにまちの特色に違いがあります。その特色を踏まえながら、それぞれの魅力を高めていくことで相乗効果を生み出し、「はぐくみの軸」全体の価値を向上させていくため、現状の沿道施設の立地状況や第2次都心まちづくり計画の考え方などから、「はぐくみの軸」上を4つのゾーンに区分けしました。

西Cゾーン

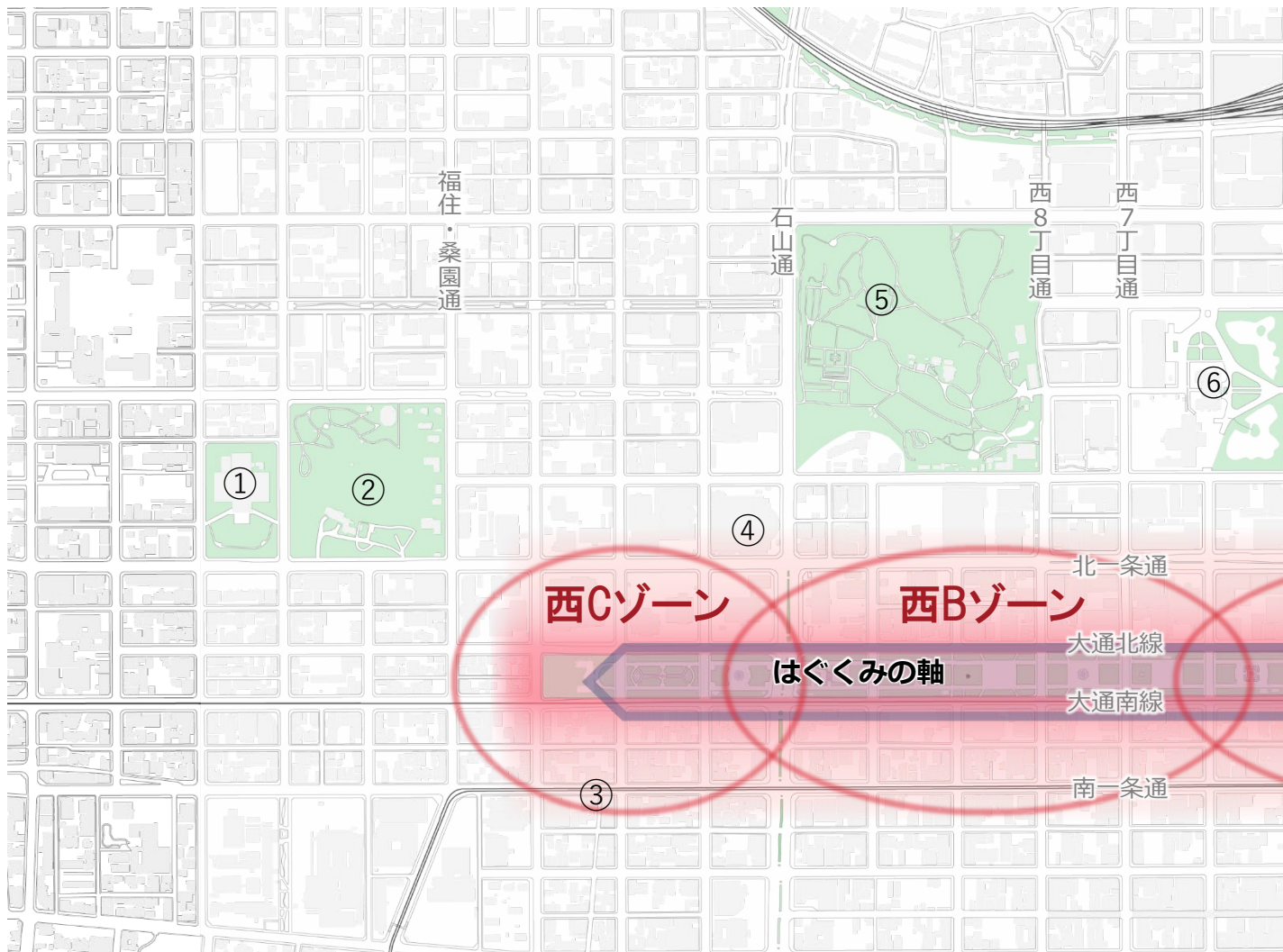
(概ねの位置:「はぐくみの軸」西端～石山通)

- 周辺を含めて文化芸術施設・歴史的資源や集客交流施設が立地しているとともに、地下鉄駅・路面電車・バスの停留所が近接しており、交通利便性が高いゾーン

西Bゾーン

(概ねの位置:石山通～西6丁目)

- 多くの子どもが利用する大通公園の「遊び・イベントゾーン」を含み、沿道にはオフィス・集合住宅・ホテル・教育施設等が立地し、多様な土地利用となっているゾーン



■ ゾーン範囲周辺の施設



①北海道立近代美術館



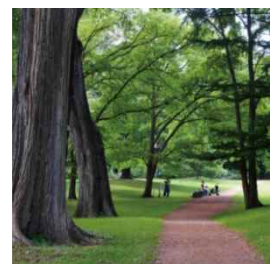
②北海道知事公館



③札幌市電



④ロイトン札幌



⑤北海道大学植物園

西Aゾーン

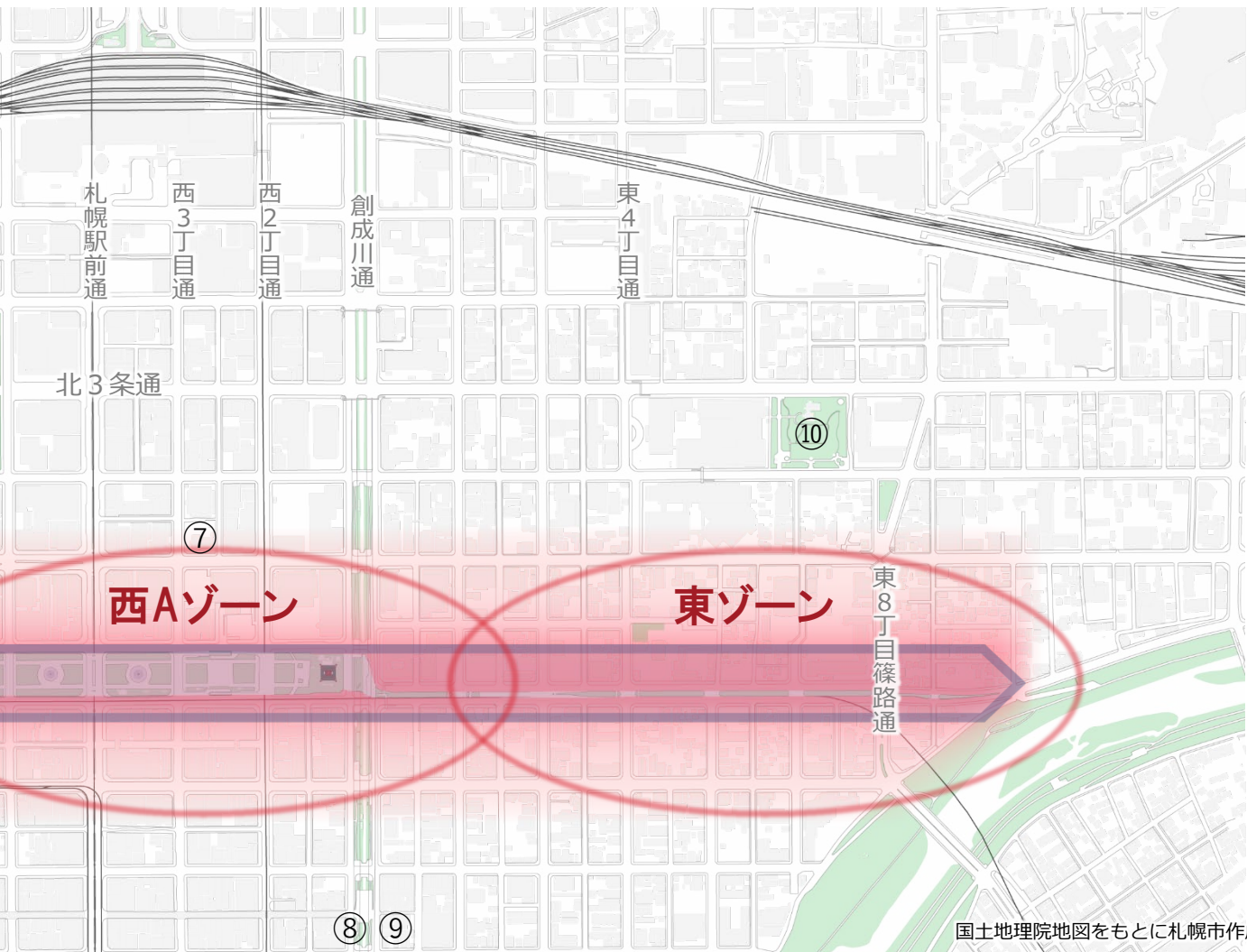
(概ねの位置:にぎわいの軸・つながりの軸と
大通・創世交流拠点を含むエリア)

- ▶ 第2次都心まちづくり計画で「大通・創世交流拠点」として位置付けているほか、「都心強化先導エリア」「都心商業エリア」の一部を含んでおり、都心の中でもビジネス・行政・商業といった都市機能の中心的役割を担っているゾーン

東ゾーン

(概ねの位置:大通・創世交流拠点より東側)

- ▶ 共同住宅の建設が進んでいる一方で、公園や公共的空間が不足しており、また、青空駐車場といった低未利用地が多いゾーン



国土地理院地図をもとに札幌市作成



⑥北海道庁旧本庁舎



⑦札幌市時計台



⑧創成川公園



⑨二条市場



⑩旧永山武四郎邸

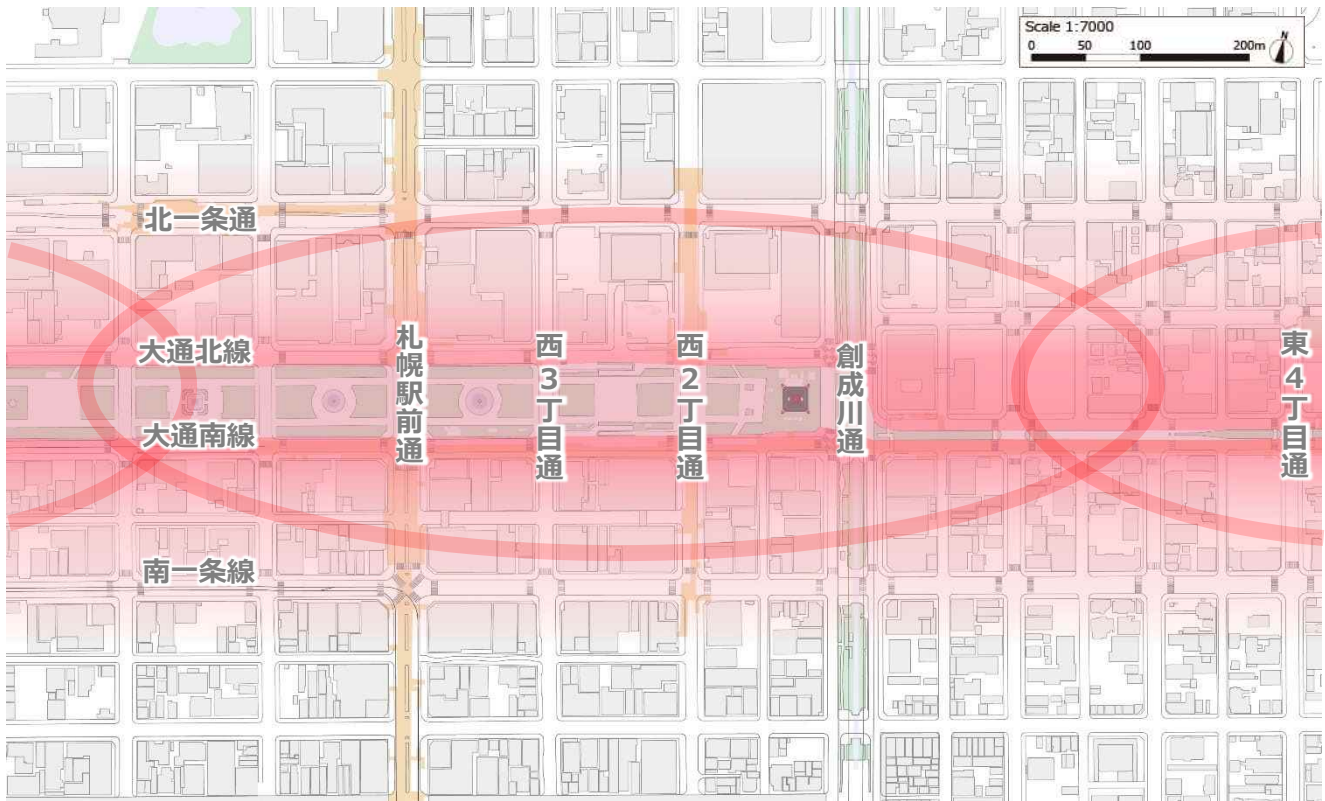
上記画像全て <資料> 札幌市

4-2. ゾーン別の現状と課題、取組の方向

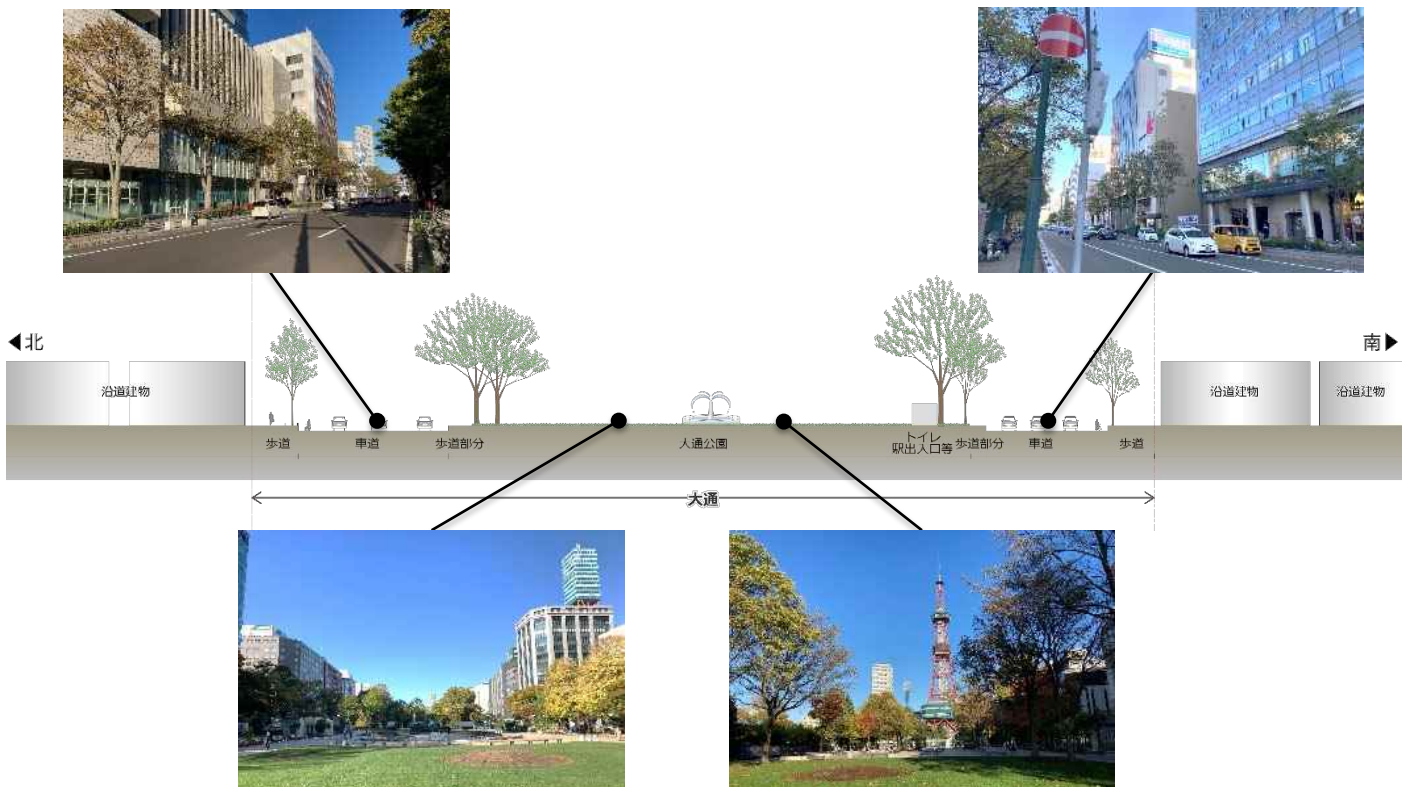
ここでは4つに分けたゾーン毎にまちの特性や主な課題を分析し、「強化の考え方」を設定しました。「想定される主な取組例」では、「強化の考え方」を踏まえて想定したゾーン毎の具体的な施策等の例を挙げています。

【西Aゾーン】

■ ゾーン周辺図



■ 現況道路断面イメージ・現況写真 ※道路断面は南北方向の概略図



上記画像全て <資料> 札幌市

■ ゾーン特性 【 】：関連する将来像のキーワード

- 札幌市民交流プラザや札幌大通地下ギャラリー500m美術館など文化芸術施設が立地している。【創造性】
- 札幌時計台、テレビ塔など札幌を象徴する歴史的資源、景観資源が立地している。【象徴性】【都市の景観】
- 噴水などの水景施設が大通公園の各街区を特徴づけている。【象徴性】
- 創成川通アンダーパス連続化事業に伴い創成川公園や創成川の東西市街地を繋ぐ道路が整備され、創成川以西から以東への人の流れを創出する基盤が形成されている。【象徴性】
- 地区計画や地域が主体となって策定したまちづくりガイドラインにより土地利用等の方針が示され、今後の機能更新が期待される街区がある。【創造性】
- 地下歩行空間、地下街等が展開し、地下の回遊性を有する空間となっている。【ユニバーサル】
- 北海道内各所と繋がるバスターミナル機能や市内各地への交通アクセスが充実している。【快適な交通環境】
- 地下鉄駅や路面電車・バスの停留場が近接しており、交通結節点になっている。【快適な交通環境】
- 面的なエネルギーネットワークの整備が進められている。【脱炭素化】
- 一時避難場所としての大通公園や一時滞在施設としての地下歩行空間等がある。【防災】



大通公園西3丁目・さっぽろテレビ塔



さっぽろ地下街（左：ポールタウン、右：オーロラタウン）



札幌駅前通地下歩行空間
上記画像全て <資料> 札幌市

■ 主な課題 【 】：関連する将来像のキーワード

- 大規模な都市機能更新といった投資を呼び込むための国際競争力強化に向けた取組の方向が不足している。【象徴性】
- 札幌を象徴する歴史的資源としての時計台が立地しているが、大通公園とのつながりが弱い。【象徴性】
- 沿道から南北へ展開する回遊性が不足している。【象徴性】
- 築年数の経過した大規模ビルが多く、今後の機能の見直しを行っていく必要がある。【創造性】
- 西側から繋がっている公園は創成川までで途切れており、創成川以東への連続性が途切れている。【創造性】
- 沿道と公園の一体感に欠け、低層部での沿道と公園の賑わいの連続が不足している。【ライフスタイル】
- 大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化等の基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。【都市の景観】
- 屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行整備地区（札幌駅周辺地区等）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。【都市の景観】
- 路上駐車が多く、自転車通行空間をふさぐなどの支障が生じている。【快適な交通環境】
- エネルギーネットワークを、沿道建物へさらに拡充していく必要がある。【脱炭素化】



オフィスビルの連続



大型商業施設の集積
上記画像全て <資料> 札幌市

強化の考え方

育んできた価値と新しい価値が融合した
世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点をはぐくむ

■強化の考え方

育んできた価値と新しい価値が融合した
世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点をはぐくむ

■想定される主な取組例

①【象徴性】

b:沿道建物低層部の南北の通に面する部分への賑わい機能の導入

①【象徴性】 ②【創造性】

③【ライフスタイル】 ⑩【みどり】

大通公園の在り方検討

①【象徴性】a・c、②【創造性】c、③【ライフスタイル】c、⑩【みどり】b

②【創造性】

a:低未利用地を活用した実証実験
 低未利用地のパブリックスペースとしての利用

②【創造性】

b:既存施設を活かした文化芸術活動の促進
 (札幌市民交流プラザなど)

②【創造性】

③【ライフスタイル】

街区間の連携を考慮した複数街区における連鎖開発

大通公園東側の新たな象徴空間となるオープンスペースの創出

大通西1丁目、大通西2丁目街区などの市有地の利活用の検討

札幌市時計台、さっぽろテレビ塔、大通公園、創成川公園などを活かした都市空間の形成

①【創造性】a、②【ライフスタイル】a

④【まちづくり】

a:実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施

⑥【健康的な暮らし】

a:歩行時の障害となる部分の改良(建物や移動経路のバリアフリー化など)

季節を問わず通れる空間の整備(屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備など)

b:健康増進に資する機能の導入

⑪【脱炭素化】

a:地域材を積極的に取り入れた建物内外装の木質化
 札幌心E!まち開発推進制度を通じた開発における脱炭素化の取組の促進
 事業所における省エネルギー機器への転換

⑥【健康的な暮らし】

b:大通公園と一体感を感じられるような設えの工夫
 (内装の木質化、低層部の賑わい機能の導入など)
 建物の内部の活動が見える設えと使い方の工夫

①【象徴性】

a:歴史的資源の保存と活用(札幌市時計台)
 b:札幌市時計台を活かした都市空間の形成

⑨【都市の景観】

a:周辺の歴史的資源や街並みなどと調和した建物外観デザインの工夫
 (札幌市時計台、大通公園、周辺の街並みなど)

②【創造性】

b:建物の更新に合わせた機能の集積や複合化
 大通公園に面した街区らしい働き方ができ、多様な人材を引き寄せる創造的なオフィス環境の整備

②【創造性】

a:市有地の利活用

③【ライフスタイル】

a:大通公園との一体的利用を意識したパブリックスペースの創出や利活用

①【象徴性】

沿道建物から大通公園までの空間を繋ぐパブリックスペースの創出や利活用
 (民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発棟との連携によるみどりの創出など)

①【象徴性】

③【ライフスタイル】

沿道建物低層部への賑わい機能の導入
 沿道建物の内部の活動が見える設えの整備と使い方の工夫
 ①【象徴性】c、③【ライフスタイル】b

⑩【みどり】

a:周辺の既存施設等との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出
 (札幌市時計台や大通公園など)

②【創造性】

a:地下鉄駅コンコースなどの既存の都市基盤施設の利活用

③【ライフスタイル】

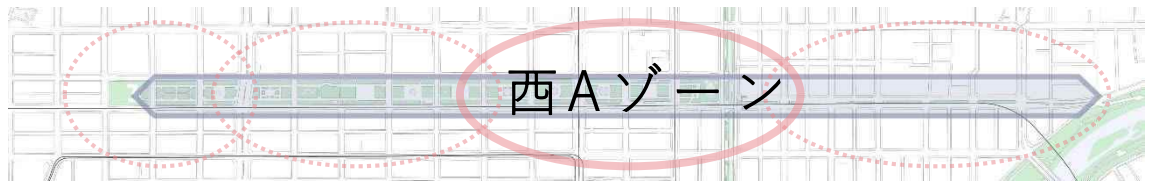
c:イベント開催時の大通公園と周辺のパブリックスペースとの一体的な活用

⑫【防災】

a:災害時に利用できるパブリックスペースの創出

全ゾーンに共通する取組例

街区・道路・公園の一体感を



⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】

a:歩行者動線とは錯綜しない、集約的荷捌きのためのスペース
歩行者動線を阻害しない位置への駐車場出入口の設置

⑧ 【快適な交通環境】

a:路上駐車対策などによる自転車が安全に通行できる空間の確保
快適な移動を阻害しない位置への駐車場出入口の設置

⑪ 【脱炭素化】 ⑫ 【防災】

大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充
各建物へのBEMS、エネルギーセンターを核としたAEMSの導入の促進
⑪【脱炭素】 a、⑫【防災】 a

⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】

a:周辺街区と連携した歩行者動線上の放置自転車対策

⑨ 【都市の景観】

a:景観計画重点区域の取組の継続

⑫ 【防災】

b:地域主体の防災に関する取組の強化(防災計画の策定など)

⑧ 【快適な交通環境】

a:周辺街区と連携した放置自転車対策の推進による歩行環境の確保

⑩ 【みどり】

a:大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川以東まで波及させる連続性のある空間の創出

⑫ 【防災】

a:地下街の防災性向上
b:エリアマネジメント団体による防災訓練の実施

① 【象徴性】

b:創成川以西の賑わいを創成川以東まで波及させる連続性のある空間の形成

⑤ 【ユニバーサル】

a:案内サイン等による利便性の向上

⑤ 【ユニバーサル】

a:建替等に合わせた、建物や移動経路のバリアフリー化
建替等に合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上(地下の歩行者空間への接続箇所の新設、地上・地下出入口の建物への取込み など)

⑨ 【都市の景観】

b:大通公園にふさわしい屋外広告物の規制、誘導

② 【創造性】

③ 【ライフスタイル】
大通公園、創成川公園が持つ魅力を創成川以東まで波及させる連続性のある空間の形成

②【創造性】 c、③【ライフスタイル】 c、

① 【象徴性】

b:狸小路を活かした南北の回遊性の創出

⑫ 【防災】

a:建物の耐震化の推進

④ 【まちづくり】

b:新たなエリアマネジメント団体組成の促進
地域主体のまちづくり活動の促進(地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進 など)

⑩ 【みどり】

b:みどりととの繋がりを創出するための中低層部の設えの工夫
大通と沿道との繋がりを強化する街路樹などのみどりの強化
一体感のあるみどりを創出する民間開発や公園などとの連携

⑩ 【みどり】

b:道路空間などを活用した実証実験

③ 【ライフスタイル】

c:道路空間などを活用した実証実験

⑨ 【都市の景観】

a:新築建物における大通公園や沿道の環境、そこでの活動に配慮した配棟の計画(壁面セットバックを用いた大通公園や歴史的資源への配慮 など)
新築建物における周辺の街並みと調和した建物の表情線の創出(隣接建物と調和した低層部の軒高やオープンスペースの創出など)

④ 【まちづくり】

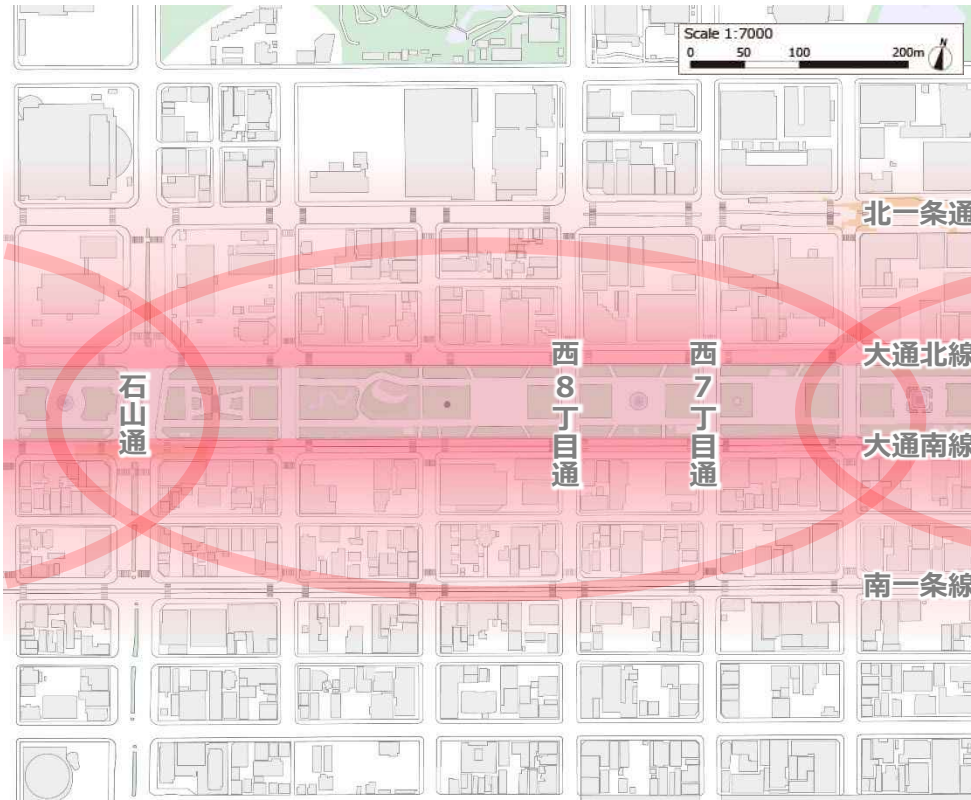
b:既存のエリアマネジメント団体の活動の促進

⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】

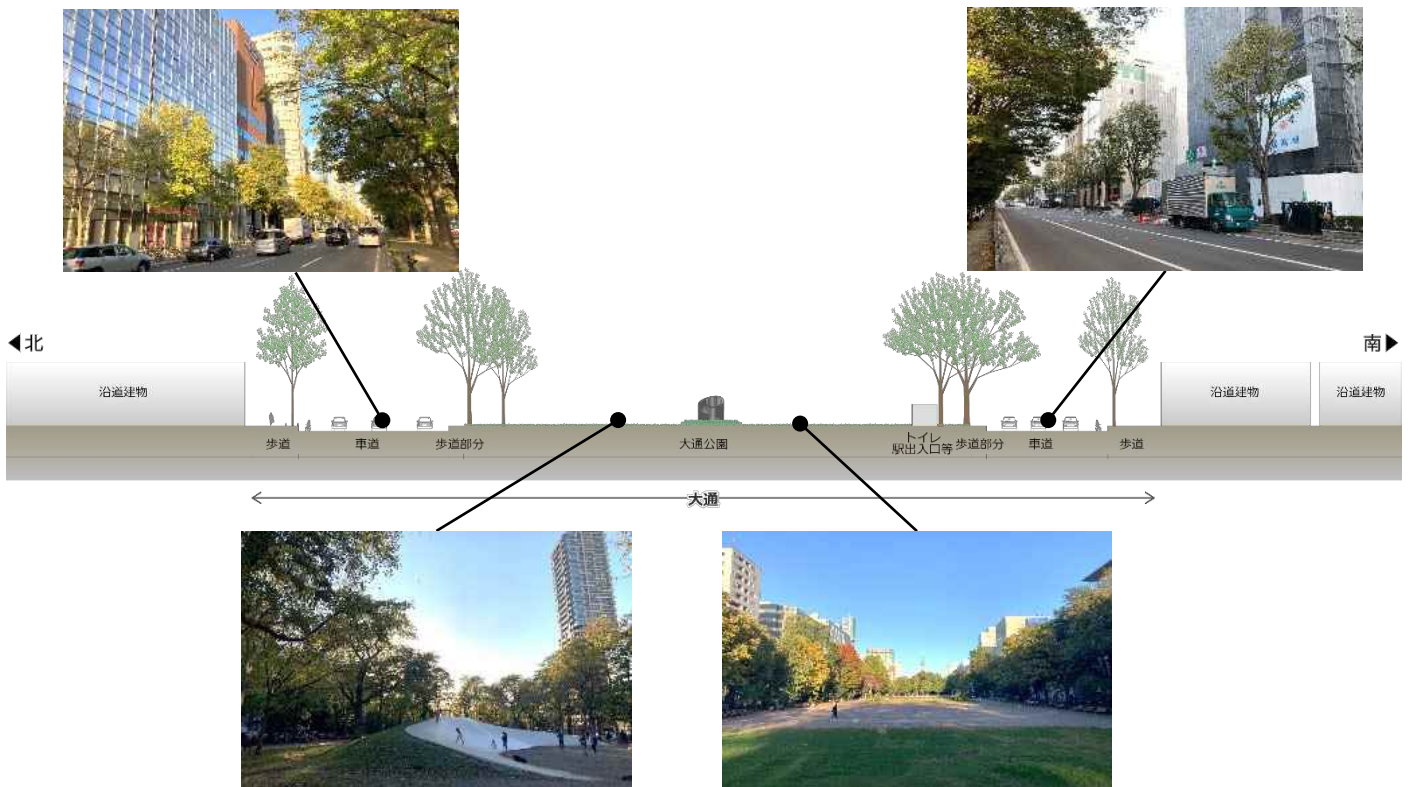
c:道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施

【西Bゾーン】

■ ゾーン周辺図



■ 現況道路断面イメージ・現況写真 ※道路断面は南北方向の概略図



上記画像全て <資料> 札幌市

■ ゾーン特性 【 】：関連する将来像のキーワード

- ・北側には道庁赤レンガ庁舎、北大植物園といった象徴的な都市機能が位置している。【**象徴性**】
- ・共同住宅の建設や保育施設の整備が進み、教育施設も立地しており、都心居住の受け皿となっている。【**ライフスタイル**】
- ・「遊び・イベントゾーン」では、子供連れや学生といった若い世代が集まり交流するスペースが生まれている。【**ライフスタイル**】
- ・大通公園西8丁目は、さっぽろ雪まつりやYOSAKOIソーラン祭りなどの大規模イベント時のメイン会場として活用され、イベントスペースとして機能しており、ホテルも立地している。【**ライフスタイル**】
- ・野外ステージは音楽イベントなどで活用され、文化芸術機能を発揮している。【**創造性**】
- ・市電の電停が複数面しており、大通から南側のエリアとの接続の起点となっている。【**快適な交通環境**】
- ・大通公園が一時避難場所として指定されている。【**防災**】



沿道に並ぶ集合住宅・専門学校



ブラック・スライド・マントラ、遊水路



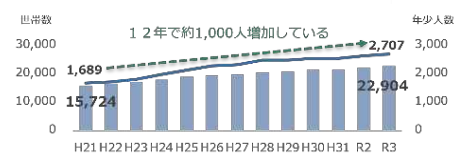
札幌ビューホテル大通公園

上記画像全て <資料> 札幌市

■ 主な課題 【 】：関連する将来像のキーワード

- ・沿道低層部の機能が、公園内の機能と連携しておらず、公園とまちの一体感が感じられない。【**象徴性**】
- ・周辺の世帯数増加に伴い子供の人口も増加傾向にあるが、大通公園が、憩いと遊びの場として活用できる期間が十分ではない。【**ライフスタイル**】
- ・イベント時には、イベントの非利用者に対する動線の対応が課題となっている。【**ライフスタイル**】
- ・イベント時には、イベント建屋背面により、大通公園と沿道のつながりが薄れる。【**ライフスタイル**】
- ・大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化等の基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。【**都市の景観**】
- ・屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行整備地区（札幌駅周辺地区等）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。【**都市の景観**】
- ・路上駐車が多く、自転車通行空間をふさぐなどの支障が生じている。【**快適な交通環境**】
- ・沿道ビルは、築年数の経過などを踏まえても個別の建替え・利用継続が今後も見込まれ、防災への対応にはビル間での連携した取組が必要。【**防災**】
- ・沿道ビルは、築年数の経過などを踏まえても個別の建替え・利用継続が今後も見込まれる。【**防災**】

■：集計範囲 □：当検討対象エリア



対象地付近の世帯数と子供の数の推移 ■世帯数 ▲年少人口

※各年1月11日のデータを採用。年少人口（0～14歳）の合計値を採掲。
出典：札幌市「住民基本台帳」（R3.9）、「札幌市統計区域図」（H30.11）を基に作成

世帯数と子供の数の増加



沿道に並ぶ集合住宅・専門学校

上記画像全て <資料> 札幌市

強化の考え方

居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う
都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ

■強化の考え方

居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う
都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ

■想定される主な取組例

①【象徴性】

- b:沿道建物低層部の南北の通に面する部分への賑わい機能の導入
- c:沿道建物低層部への賑わい機能の導入
沿道建物の内部の活動が見える設えの整備と使い方の工夫

①【象徴性】 ②【創造性】

③【ライフスタイル】

⑩【みどり】

大通公園の在り方検討

- ①【象徴性】 a,c、②【創造性】 c、③【ライフスタイル】 c、⑩【みどり】 b

②【創造性】

- a:低未利用地を活用した実証実験
低未利用地のパブリックスペースとしての利活用

③【ライフスタイル】

- b:沿道建物低層部への賑わい機能の導入
沿道建物の内部の活動が見える設えの整備と使い方の工夫

④【まちづくり】

- a:実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施
- b:新たなエリアマネジメント団体組成の促進
地域主体のまちづくり活動の促進(地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進等)

⑤【ユニバーサル】

- a:建替等に合わせた、建物や移動経路のバリアフリー化

⑥【健康的な暮らし】

- a:歩行者の障害となる部分の改良(建物や移動経路のバリアフリー化 など)
季節を問わず通れる空間の整備(屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備 など)

⑫【防災】

- a:建物の耐震化の推進

①【象徴性】

- b:狸小路を活かした南北の回遊性の創出



③【ライフスタイル】

⑩【みどり】

- 道路空間などを活用した実証実験
- ③【ライフスタイル】 c、⑩【みどり】 b

⑥【健康的な暮らし】

- b:健康増進に資する機能の導入

③【ライフスタイル】

- c:イベント開催時の大通公園と周辺のパブリックスペースとの一体的な活用

⑫【防災】

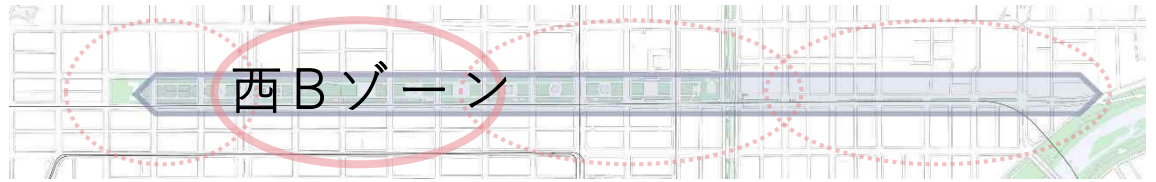
- a:災害時に活用できるパブリックスペースの創出

⑫【防災】

- a:大通公園の防災機能の強化

全ゾーンに共通する取組例

街区・道路・公園の一体感を



西Bゾーン

⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】

- a:歩行者動線と錯綜しない、集約的荷さばきのためのスペースや動線の確保
歩行者動線を阻害しない位置への駐車場出入口の設置
- b:道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施

⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】

- a:周辺街区と連携した歩行者動線上の放置自転車対策

⑧ 【快適な交通環境】

- a:路上駐車対策などによる自転車が安全に通
行できる空間の確保
快適な移動を阻害しない位置への駐車場出
入口の設置

⑧ 【快適な交通環境】

- a:周辺街区と連携した放置自転車対策の推進
による歩行環境の確保

⑨ 【都市の景観】

- a:新築建物における大通公園や大通沿道の環
境、そこでの活動に配慮した配棟の計画
(壁面セットバックを用いた大通公園や歴史
的資源への配慮 など)
新築建物における周辺の街並みと調和した
建物の表情線の創出
(隣接建物と調和した低層部の軒高やオー
プンスペースの創出 など)

⑨ 【都市の景観】

- a:景観計画重点区域の取組の継続

⑫ 【防災】

- b:地域主体の防災に関する取組の強化
(防災計画の策定など)

⑨ 【都市の景観】

- b:大通公園にふさわしい屋外広告
物の規制、誘導

② 【創造性】

- b:多様な人材の集積・交流を促す
ための、多様な滞在環境の整備
大通公園に面した街区らしい
働き方ができ、多様な人材を
引き寄せる創造的なオフィス
環境の整備

⑥ 【健康的な暮らし】

- b:大通公園と一体感を感じられ
るような設えの工夫
(内装の木質化、低層部の賑わ
い機能の導入 など)
建物の内部の活動が見える設え
と使い方の工夫

⑩ 【みどり】

- b:みどりととの繋がりを創出する
ための中低層部の設えの工夫

① 【象徴性】

- b:北海道庁旧本庁舎（赤れんが
庁舎）を活かした都市空間の
形成

⑨ 【都市の景観】

- a:周辺の歴史的資源や街並みなど
と調和した建物外観デザイ
ンの工夫（大通公園、周辺の
街並みなど）

⑩ 【みどり】

- a:周辺の既存施設等との繋がりを
意識した道路緑化の強化や
新たなみどりの創出
(北海道庁旧本庁舎、北海道大
学植物園、大通公園など)

⑩ 【みどり】

- b:大通と沿道との繋がりを強化する
街路樹などのみどりの強化
一体感のあるみどりを創出する民
間開発や公園などとの連携

① 【象徴性】

- c:沿道建物から大通公園までの
空間を繋ぐパブリックスペース
の創出や利活用
(民間開発の創意工夫による機
能配置、民間開発棟との連携
によるみどりの創出 など)

③ 【ライフスタイル】

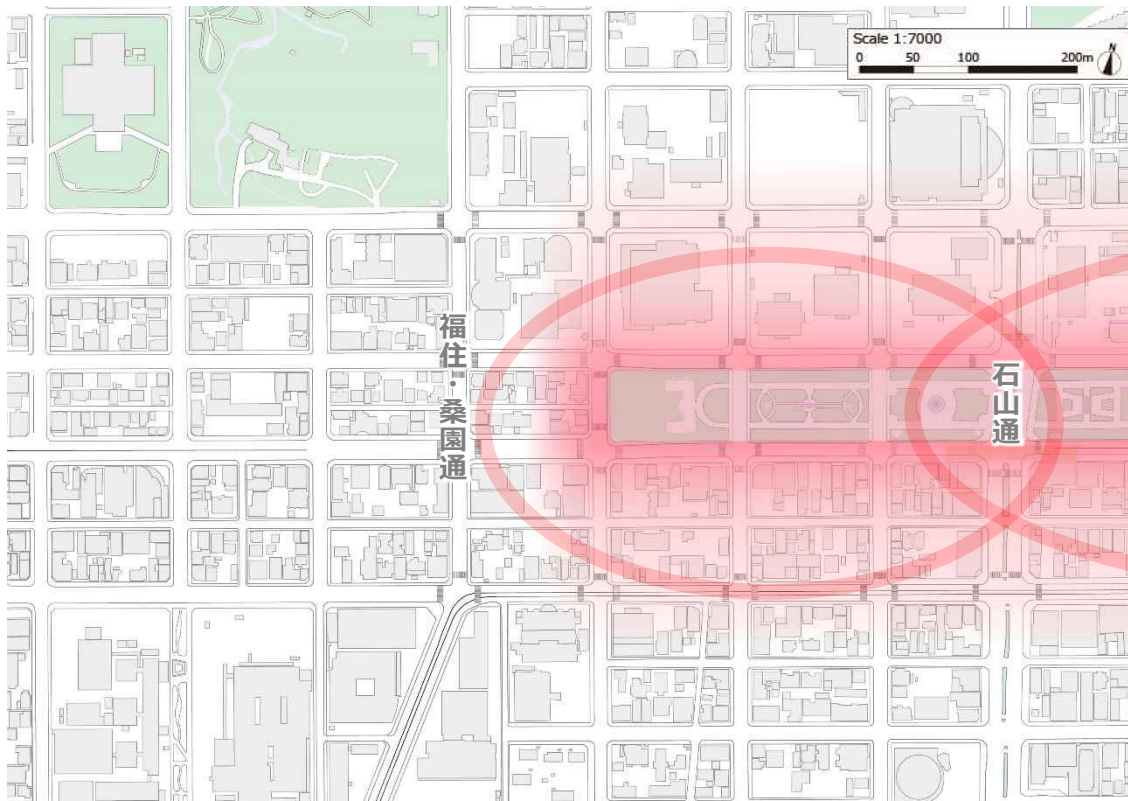
- a:大通公園との一体的利用を意
識したパブリックスペースの
創出や利活用

⑪ 【脱炭素化】

- a:地域材を積極的に取り入れた
建物内外装の木質化
札幌都心E！まち開発推進制
度を通じた開発における脱炭
素化の取組の促進
事業所における省エネルギー
機器への転換

【西cゾーン】

■ ゾーン周辺図



■ 現況道路断面イメージ・現況写真 ※道路断面は南北方向の概略図



上記画像全て <資料> 札幌市

■ **ゾーン特性** 【 】：関連する将来像のキーワード

- 札幌市資料館、大通公園のサンクガーデンなど歴史的資源、景観資源がある。【**象徴性**】【**都市の景観**】
- 多様な用途の建物が集積し、敷地規模も大小様々であり、多様な都市機能を受け止める土台が構築されている。【**創造性**】
- 大通公園の南北においてもそれぞれ違う特色をもつ都市機能が集積している。【**創造性**】
- 中央区役所などの公共施設や文化芸術施設のほか、集客交流施設が複数立地している。【**創造性**】
- 知事公館や北海道立近代美術館などの緑のかたまりに近接している。【**みどり**】
- 地下鉄駅、路面電車・バスの停留所が近接しており、交通利便性が高い。【**快適な交通環境**】



札幌高等裁判所 札幌市教育文化会館



札幌市資料館と前面に広がるサンクガーデン



市電 中央区役所前駅
上記画像全て <資料> 札幌市

■ **主な課題** 【 】：関連する将来像のキーワード

- 大規模な公有地が公園に面して立地しているが、駐車場利用等により公園とまちの一体感が薄い。【**創造性**】
- 沿道建物の低層部は、賑わい醸成に資する用途となっていない。【**ライフスタイル**】
- 地域主体のまちづくりなど、一体感をもったまちづくりの動向が無い。【**まちづくり**】
- 大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化等の基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。【**都市の景観**】
- 屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行整備地区（札幌駅周辺地区等）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。【**都市の景観**】
- 建物規模が大きく、業務・宿泊など多様な機能集積が見られるが、エネルギー利用の効率化に係る取組の方向がない。【**脱炭素化**】
- 北海道／札幌の重要な公共拠点施設が立地しており高い防災性が求められるが、エリアとしてのBCP対策はない。【**防災**】



大通公園のサンクガーデン



ロイトン札幌



札幌高等裁判所 教育文化会館

上記画像全て <資料> 札幌市

強化の考え方

都心西側の回遊拠点を形成し
美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ

■強化の考え方

都心西側の回遊拠点を形成し
美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ

■想定される主な取組例

①【象徴性】

b:北海道知事公館や北海道立近代美術館などの周辺のまとまったみどりを活かした都市空間の形成

①【象徴性】 ②【創造性】

③【ライフスタイル】

⑩【みどり】

大通公園の在り方検討

①【象徴性】 a,c、②【創造性】 c、③【ライフスタイル】 c
 ⑩【みどり】 b、

②【創造性】

a:地下鉄駅コンコースなどの既存の都市基盤施設の利活用

②【創造性】

a:低未利用地を活用した実証実験
 低未利用地のパブリックスペースとしての利活用

④【まちづくり】

a:実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施
 b:新たなエリアマネジメント団体組成の促進
 地域主体のまちづくり活動の促進(地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進 等)

⑤【ユニバーサル】

a:建替等に合わせた、建物や移動経路のバリアフリー化

⑥【健康的な暮らし】

a:歩行時の障害となる部分の改良(建物や移動経路のバリアフリー化など)
 季節を問わず通れる空間の整備(屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備 など)
 b:健康増進に資する機能の導入

⑦【居心地がよく歩きたくなるまち】

a:歩行者動線と錯綜しない、集約的荷さばきのためのスペースや動線の確保
 歩行者動線を阻害しない位置への駐車場出入口の設置

⑨【都市の景観】

b:大通公園にふさわしい屋外広告物の規制、誘導

①【象徴性】

a:歴史的資源の保存と活用(札幌市資料館)

⑨【都市の景観】

a:周辺の歴史的資源や街並みなどと調和した建物外観デザインの工夫(札幌市資料館、大通公園のサンクガーデン、周辺の街並み など)

⑫【防災】

a:建物の耐震化の推進

⑪【脱炭素化】

a:地域材を積極的に取り入れた建物内外装の木質化
 札幌都心E!まち開発推進制度を通じた開発における脱炭素化の取組の推進
 事業所における省エネルギー機器への転換

③【ライフスタイル】

c:道路空間などを活用した実証実験

⑩【みどり】

b:道路空間などを活用した実証実験

⑦【居心地がよく歩きたくなるまち】

b:道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施

③【ライフスタイル】

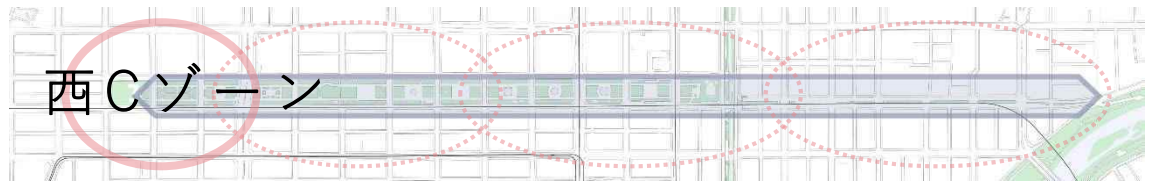
a:大通公園との一体的利用を意識したパブリックスペースの創出や利活用
 c:イベント開催時の大通公園と周辺のパブリックスペースとの一体的な活用

②【創造性】

a:市有地の利活用

全ゾーンに共通する取組例

街区・道路・公園の一体感を



⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】

a:周辺街区と連携した歩行者動線上の放置自転車対策

⑧ 【快適な交通環境】

a:路上駐車対策などによる自転車が安全に通行できる空間の確保
快適な移動を阻害しない位置への駐車場出入口の設置

⑧ 【快適な交通環境】

a:周辺街区と連携した放置自転車対策の推進による歩行環境の確保

⑨ 【都市の景観】

a:景観計画重点区域の取組の継続

⑩ 【みどり】

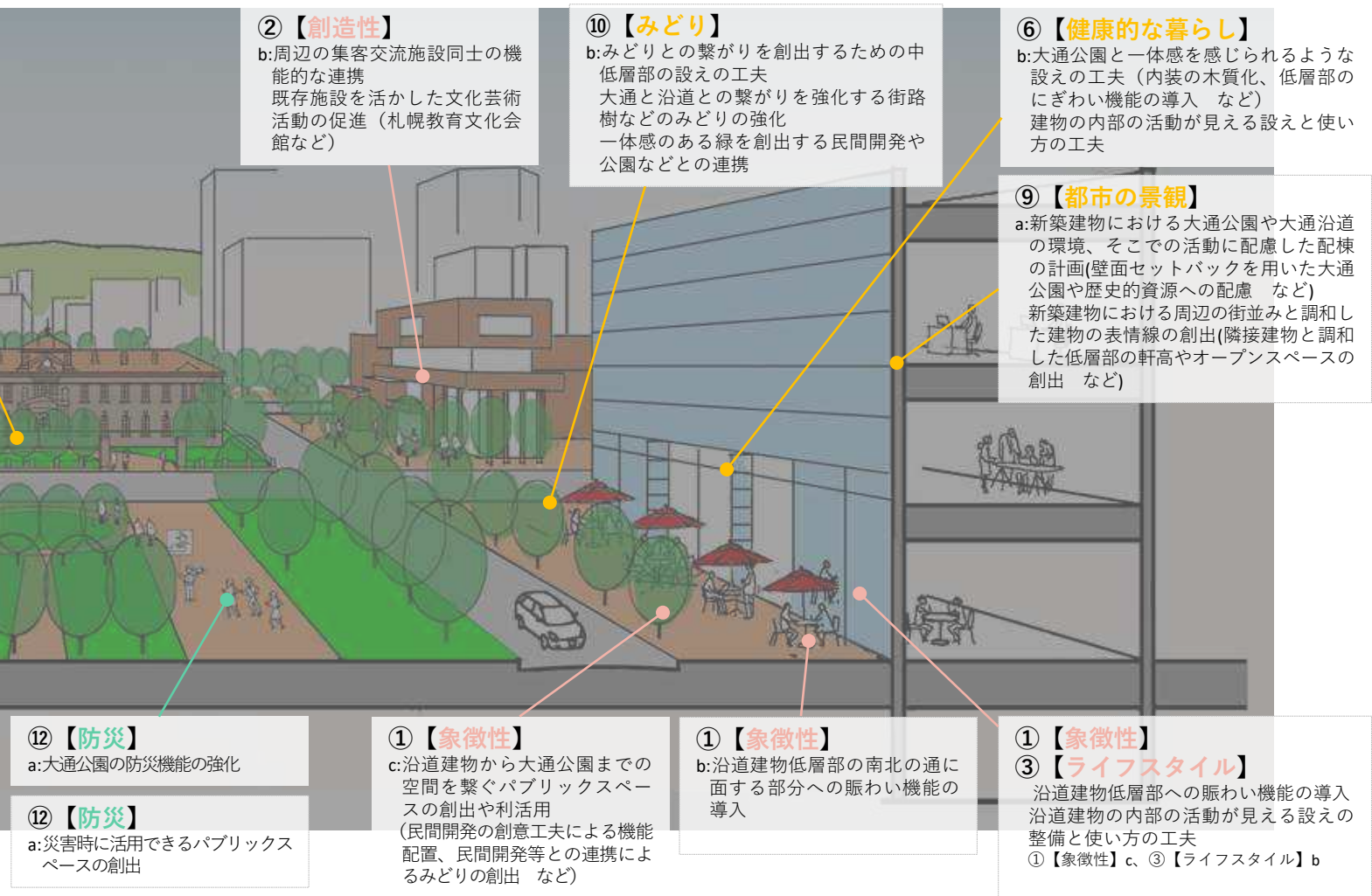
a:周辺の既存施設等との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出（北海道知事公館や北海道近代美術館など）

⑪ 【脱炭素化】 ⑫ 【防災】

a:大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充

⑫ 【防災】

b:地域主体の防災に関する取組の強化(防災計画の策定など)



② 【創造性】

b:周辺の集客交流施設同士の機能的な連携
既存施設を活かした文化芸術活動の促進（札幌教育文化会館など）

⑩ 【みどり】

b:みどりととの繋がりを創出するための中低層部の設えの工夫
大通と沿道との繋がりを強化する街路樹などのみどりの強化
一体感のある緑を創出する民間開発や公園などとの連携

⑥ 【健康的な暮らし】

b:大通公園と一体感を感じられるような設えの工夫（内装の木質化、低層部ににぎわい機能の導入 など）
建物の内部の活動が見える設えと使い方の工夫

⑨ 【都市の景観】

a:新築建物における大通公園や大通沿道環境、そこでの活動に配慮した配棟の計画(壁面セットバックを用いた大通公園や歴史的資源への配慮 など)
新築建物における周辺の街並みと調和した建物の表情線の創出(隣接建物と調和した低層部の軒高やオープンスペースの創出 など)

⑫ 【防災】

a:大通公園の防災機能の強化

⑫ 【防災】

a:災害時に活用できるパブリックスペースの創出

① 【象徴性】

c:沿道建物から大通公園までの空間を繋ぐパブリックスペースの創出や利活用（民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出 など）

① 【象徴性】

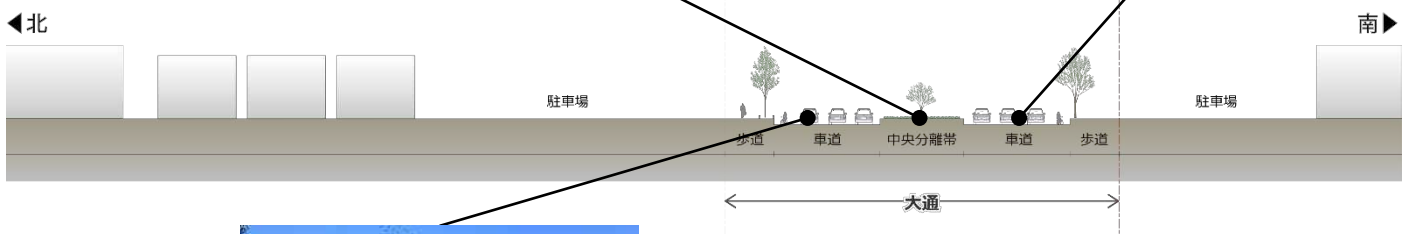
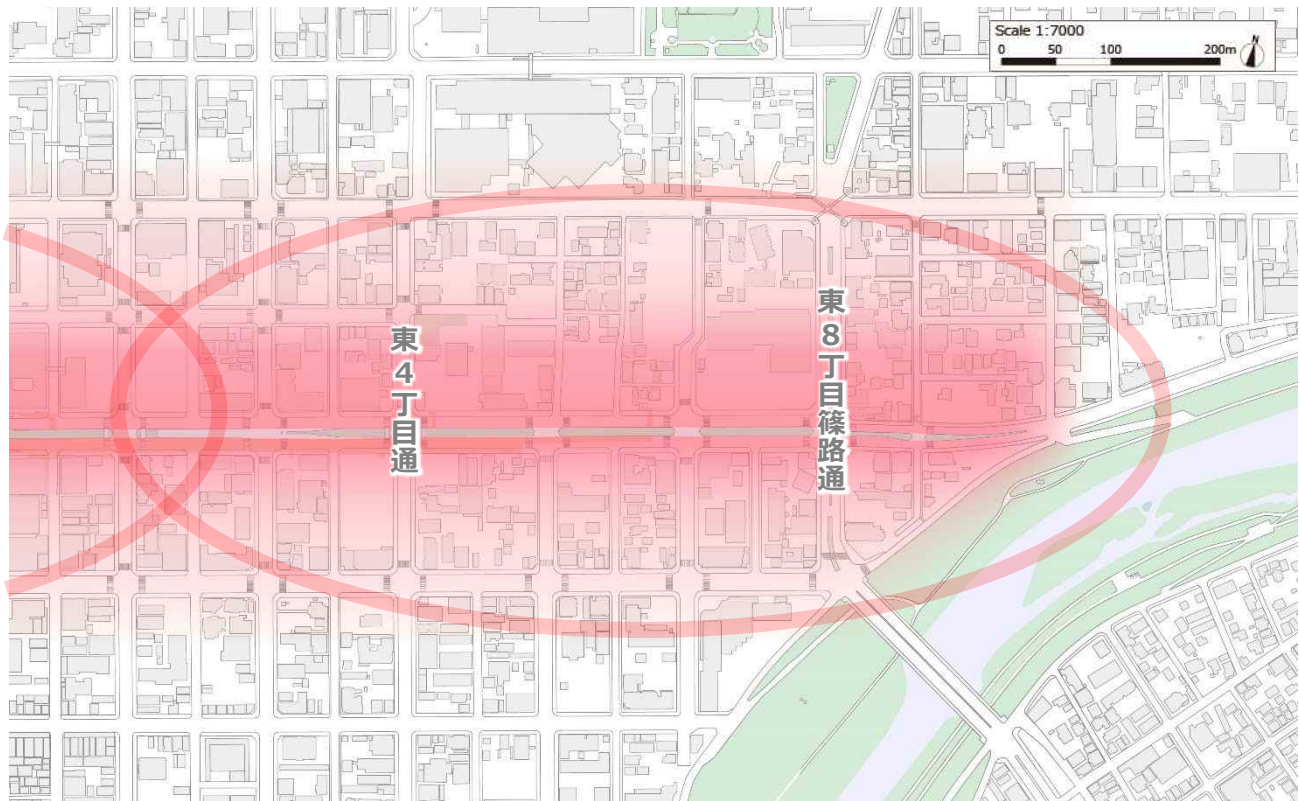
b:沿道建物低層部の南北の通に面する部分への賑わい機能の導入

① 【象徴性】

③ 【ライフスタイル】
沿道建物低層部への賑わい機能の導入
沿道建物の内部の活動が見える設えの整備と使い方の工夫
①【象徴性】c、③【ライフスタイル】b

【東ゾーン】

■ ゾーン周辺図



上記画像全て <資料> 札幌市

■ ゾーン特性 【 】：関連する将来像のキーワード

- 地下鉄コンコースが大通東5丁目まで伸びている。【象徴性】
- 東4丁目通の整備により、地域内の南北の歩行環境の向上が図られる予定である。【象徴性】
- サッポロファクトリーや二条市場などの地域資源がある。【象徴性】
- 低未利用地が多く今後の土地利用転換が期待される。【創造性】
- 創成川西側と比較して地価水準が低く、賃料負担力にとらわれない機能導入が可能である。【創造性】
- 共同住宅の建設や保育施設の整備が進み、都心居住の受け皿となっている。【創造性】
- 民間団体や行政により、イベント開催や実証実験など、公共空間を活用し、まちの魅力・活力を高めていく試みがなされている。【まちづくり】
- 豊平川において、河川区域の利活用を目指した取組が進められている。【まちづくり】
- 都心エネルギープランで、小規模な建物を含めて都心にふさわしい先進的な取組により低炭素化を推進するエリアとして位置づけられている。【脱炭素化】
- 都心エネルギープランで、熱供給ネットワーク促進エリアとして、将来的に面的なエネルギーネットワークを構築するエリアとして位置づけられている。【脱炭素化】
- 中央小学校が基幹指定避難場所となっている。【防災】



中小規模の住宅・事務所（東7丁目）



二条市場
上記画像全て <資料> 札幌市

■ 主な課題 【 】：関連する将来像のキーワード

- 周辺の世帯数増加に伴い子供の人口も増加傾向にあるが、遊びに利用できるスペースが十分ではない。【創造性】
- 駐車場の出入口が沿道に多数存在している。【居心地がよく歩きたくなるまち】
- 近接する歴史的資源を活かすなど、景観的な視点からも方向性を位置づけることが望まれる。【都市の景観】
- 安全確保計画に定められている一時滞在施設などがバスセンター駅前の地下鉄コンコースのみである。【防災】



あそぶ公園



大通バスセンター



大通東5丁目の青空駐車場
上記画像全て <資料> 札幌市

強化の考え方

創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした
創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかをはぐくむ

■強化の考え方

創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした
創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかをはぐくむ

■想定される主な取組例

①【象徴性】

b:沿道建物低層部の南北の通に面する部分への賑わい機能の導入

①【象徴性】

③【ライフスタイル】

沿道低層部への賑わい機能の導入
 沿道建物の内部の活動が見える設えの整備
 と使い方の工夫

①【象徴性】c、③【ライフスタイル】b

①【象徴性】

b:東4丁目の整備

①【象徴性】②【創造性】

③【ライフスタイル】

創成川以西の賑わいを創成川以東まで波及させる連続性のある空間の形成

①【象徴性】b、②【創造性】c、③【ライフスタイル】c

①【象徴性】②【創造性】

③【ライフスタイル】⑩【みどり】

a:大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川以東まで波及させる連続性のある空間の創出

②【創造性】

③【ライフスタイル】

a:街区間の連携を考慮した複数街区における連鎖開発

大通公園東側の新たな象徴空間となるオープンスペースの創出

大通西1丁目、大通西2丁目街区などの私有地の利活用の検討

札幌市時計台、さっぽろテレビ塔、大通公園、創成川公園などを活かした都市空間の形成

⑩【みどり】

a:大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川以東まで波及させる連続性のある空間の創出

①【象徴性】

a:歴史的資源の保存と活用（旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮等）

⑨【都市の景観】

a:周辺の歴史的資源や街並みなどと調和した建物外観デザインの工夫（周辺の街並みなど）

⑩【みどり】

a:周辺の既存施設等との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出（大通や豊平川など）

⑤【ユニバーサル】

a:建替等に合わせた、建物や移動経路のバリアフリー化

⑥【健康的な暮らし】

a:歩行時の障害となる部分の改良（建物や移動経路のバリアフリー化 など）
 季節を問わず通れる空間の整備（屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備 など）

①【象徴性】

c:沿道建物から大通までの空間を繋ぐパブリックスペースの創出や利活用（民間開発の創意工夫によるみどりの創出 など）

②【創造性】

a:市有地の利活用

⑤【ユニバーサル】

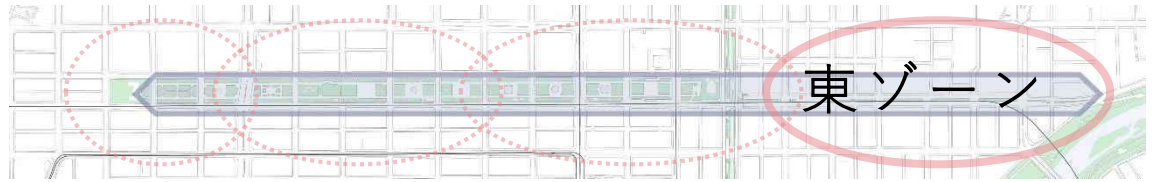
a:案内サイン等による利便性の向上

⑤【ユニバーサル】

a:建替等に合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上（地下の歩行者空間への接続箇所の新設、地上・地下出入り口の建物への取込みなど）

全ゾーンに共通する取組例

街区・道路・公園の一体感を



④ 【まちづくり】

- a: 実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施
- b: 新たなエリアマネジメント団体組成の促進
地域主体のまちづくり活動の促進(地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進 など)

⑥ 【健康的な暮らし】

- b: 健康増進に資する機能の導入

⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】

- a: 歩行者動線と錯綜しない、集約的荷さばきのためのスペースや動線の確保
歩行者動線を阻害しない位置への駐車場出入口の設置
- b: 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施

⑧ 【快適な交通環境】

- a: 路上駐車対策などによる自転車が安全に通
行できる空間の確保
快適な移動を阻害しない位置への駐車場出
入口の設置

⑧ 【快適な交通環境】

- a: 新幹線札幌駅と連携した公共交通システムの検討

⑩ 【みどり】

- b: みどりとの繋がりを創出するための中低層
部の設えの工夫
大通と沿道との繋がりを強化する街路樹な
どのみどりの強化
一体感あるみどりを創出する民間開発や公
園などとの連携
道路空間などを活用した実証実験

⑪ 【脱炭素化】 ⑫ 【防災】

- a: 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギー
ネットワークの構築、拡充
各建物へのBEMS、エネルギーセンターを核
としたAEMSの導入の促進

⑫ 【防災】

- b: 地域主体の防災に関する取組の強化(防災計
画の策定など)

② 【創造性】

- b: 建物の更新に合わせた機能の
集積や複合化
多様な人材の集積・交流を促
すための、多様な滞在環境の
整備

⑨ 【都市の景観】

- a: 新築建物における大通公園や
大通沿道の環境、そこでの活
動に配慮した配棟の計画(壁面
セットバックを用いた大通公
園や歴史的資源への配慮 など)
新築建物における周辺の街並み
と調和した建物の表情線の創出
(隣接建物と調和した低層部の軒
高やオープンスペースの創出
など)

⑪ 【脱炭素化】

- a: 地域材を積極的に取り入れた
建物内外装の木質化
札幌都心E!まち開発推進制度
を通じた開発における脱炭素
化の取組の促進
事業所における省エネルギー
機器への転換

⑫ 【防災】

- a: 建物の耐震化の推進

⑫ 【防災】

- a: 災害時に活用できるパブリッ
クスペースの創出

④ 【まちづくり】

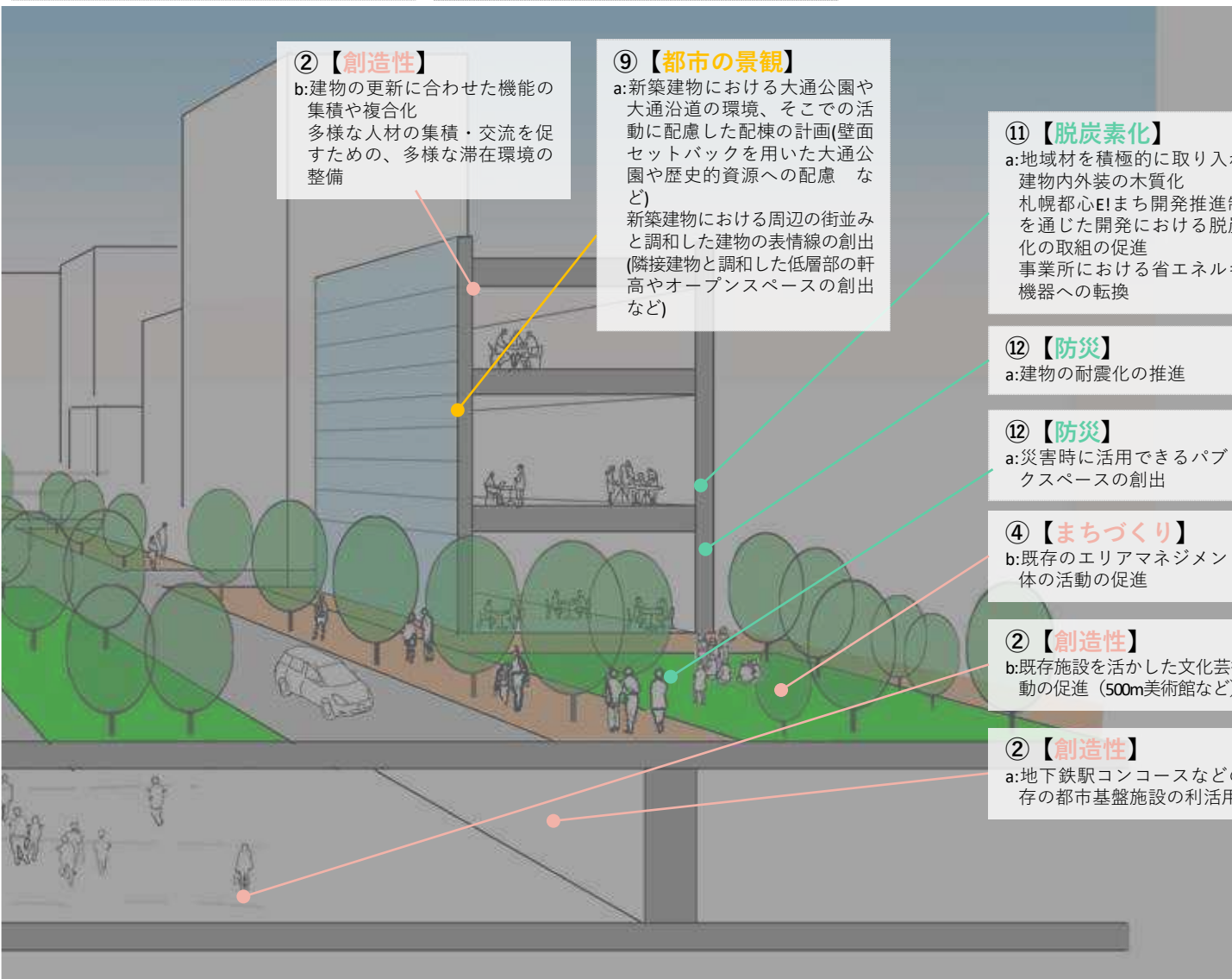
- b: 既存のエリアマネジメント団
体の活動の促進

② 【創造性】

- b: 既存施設を活かした文化芸術活
動の促進 (500m美術館など)

② 【創造性】

- a: 地下鉄駅コンコースなどの既
存の都市基盤施設の利活用



参考. 将来像、取組の方向一覧

市民の愛着の醸成と魅力の発信

将来像 ①	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【象徴性】大通がもつ札幌都心の象徴性が継承されている		都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなか をはぐくむ
	a	はぐくみの軸周辺にある歴史的資源の価値を保存・活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的資源の保存と活用（札幌市資料館） ・ 大通公園の在り方検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的資源の保存と活用（札幌市時計台） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的資源の保存と活用（旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮等）
	b	南北の回遊性向上や東西の軸性の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道知事公館や北海道立近代美術館などの周辺のまとまったみどりを活かした都市空間の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狸小路を活かした南北の回遊性の創出 ・ 北海道庁旧本庁舎（赤レンガ庁舎）を活かした都市空間の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌市時計台を活かした都市空間の形成
c	大通公園・大通・沿道建物を一体的な空間として捉えられるような機能配置や運用ルールなどの仕組みの整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道建物低層部への賑わい機能の導入 ・ 沿道建物の内部の活動が見える設えの整備と使い方の工夫 ・ 沿道建物から大通公園までの空間を繋ぐパブリックスペースの創出や利活用（民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など） ・ 大通公園の在り方検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道建物から大通までの空間を繋ぐパブリックスペースの創出や利活用（民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など）

将来像 ②	ゾーン毎に想定される主な取組					
	西C	西B	西A	東		
	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ	
【創造性】大通ならではの文化魅力・活力が育ち 世界から投資や人材を呼び込んでいる	a	公有地や低・未利用地の活用、既存の都市基盤施設・公開空地の活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 低未利用地を活用した実証実験 低未利用地のパブリックスペースとしての利活用 	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄駅コンコースなどの既存の都市基盤施設の利活用 街区間の連携を考慮した複数街区における連鎖開発 大通公園東側の新たな象徴空間となるオープンスペースの創出 大通西1丁目、大通西2丁目街区などの市有地の利活用の検討 札幌市時計台、さっぽろテレビ塔、大通公園、創成川公園などを活かした都市空間の形成 市有地の利活用 		
	b	地域の特性を活かして、まちの魅力を高める活動の促進や、建物の用途・機能の誘導を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の集客交流施設同士の機能的な連携 既存施設を活かした文化芸術活動の促進(札幌教育文化会館など) 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材の集積・交流を促すための、多様な滞在環境の整備 大通公園に面した街区らしい働き方ができ、多様な人材を引き寄せる創造的なオフィス環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の更新に合わせた機能の集積や複合化 大通公園に面した街区らしい働き方ができ、多様な人材を引き寄せる創造的なオフィス環境の整備 既存施設を活かした文化芸術活動の促進(札幌市民交流プラザなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材の集積・交流を促すための、多様な滞在環境の整備 既存施設を活かした文化芸術活動の促進(500m美術館など)
	c	大通公園の魅力をさらに高める。		<ul style="list-style-type: none"> 大通公園の在り方の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 大通公園、創成川公園が持つ魅力を創成川以東まで波及させる連続性のある空間の形成 	

将来像 ③	ゾーン毎に想定される主な取組				
	西C	西B	西A	東	
【ライフスタイル】大通らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ
	a	四季を通じてだれもが利用できる大通公園との一体的な利用を意識したパブリックスペースを屋内外で創出し、日常利用の促進を図る。	・大通公園との一体的利用を意識したパブリックスペースの創出や利活用		・街区間の連携を考慮した複数街区における連鎖開発 ・大通公園東側の新たな象徴空間となるオープンスペースの創出 ・大通西1丁目、大通西2丁目街区などの市有地の利活用の検討 ・札幌市時計台、さっぽろテレビ塔、大通公園、創成川公園などを活かした都市空間の形成
	b	建物用途や設えの工夫により、大通公園やまちに開かれた空間を創出する。	・沿道建物低層部への賑わい機能の導入 ・沿道建物の内部の活動が見える設えの整備と使い方の工夫		
c	大通公園がもたらす日常の憩いとイベント開催などによる賑わいの両立を図る。	・大通公園の在り方の検討 ・イベント開催時の大通公園と周辺のパブリックスペースとの一体的な活用 ・道路空間などを活用した実証実験		・大通公園、創成川公園が持つ魅力を創成川以東まで波及させる連続性のある空間の形成	

将来像 ④	ゾーン毎に想定される主な取組				
	西C	西B	西A	東	
【まちづくり】時代の流れに柔軟に対応した官民協働のまちづくりが進められている	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ
	a	官民連携による実証実験を展開しながら、施策の検討を進める。	・実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施		
b	市民・企業・行政等が連携した活発なまちづくり活動を促進する。	・新たなエリアマネジメント団体組成の促進 ・地域主体のまちづくり活動の促進 (地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進 等)		既存のエリアマネジメント団体の活動の促進	

より快適で豊かな暮らし

将来像 ⑤	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【ユニバーサル】 大通公園や沿道の公共的空間などが全ての人々にとって居心地の良い場として親しまれている	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ
	a 都市基盤施設を含むパブリックスペースや建物などのバリアフリー化や利便性の向上を進める。	・建替等に合わせた、建物や移動経路のバリアフリー化 ・建替等に合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上（地下の歩行者空間への接続箇所の新設、地上・地下出入口の建物への取込み など） ・案内サイン等による利便性の向上			

将来像 ⑥	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【健康的な暮らし】 増進させる環境が整っている	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ
	a どの季節にも歩きやすい環境を創出する。	・歩行時の障害となる部分の改良（建物や移動経路のバリアフリー化 など） ・季節を問わず通れる空間の整備（屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備 など）			
	b 開発や建替にあわせて、大通公園の環境を建物内部に引き込む設えや、心身の健康増進に資する機能を導入する。	・健康増進に資する機能の導入 ・大通公園と一体感を感じられるような設えの工夫（内装の木質化、低層部ににぎわい機能の導入 など） ・建物の内部の活動が見える設えと使い方の工夫			

将来像 ⑦	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【居心地がよく歩きたくなるまち】大通沿道の一体的な空間を、安全・快適に楽しく回遊できる	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し <u>美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ</u>	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う <u>都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ</u>	育んできた価値と新しい価値が融合した <u>世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を</u> <u>はぐくむ</u>	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした <u>創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを</u> <u>はぐくむ</u>
	a 安全・快適な歩行者動線を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者動線と錯綜しない、集約的荷さばきのためのスペースや動線の確保 歩行者動線を阻害しない位置への駐車場出入口の設置 			
	b 憩いや賑わいの場としての道路空間の柔軟な利活用を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 周辺街区と連携した歩行者動線上の放置自転車対策 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施 			

将来像 ⑧	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【快適な交通環境】東西に長い大通を快適・円滑に移動することができる	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し <u>美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ</u>	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う <u>都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ</u>	育んできた価値と新しい価値が融合した <u>世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を</u> <u>はぐくむ</u>	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした <u>創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを</u> <u>はぐくむ</u>
	a エリア内を快適に移動できる環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 路上駐車対策などによる自転車が安全に通行できる空間の確保 快適な移動を阻害しない位置への駐車場出入口の設置 			

将来像 ⑨	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【都市の景観】大通の資源を活かしたはぐくみの軸ならでの景観が形成されている	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ	
	大通公園や沿道の歴史的資源、周辺の街並みとの調和を考慮した、一体感のある景観形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・新築建物における大通公園や大通沿道の環境、そこでの活動に配慮した配棟の計画（壁面セットバックを用いた大通公園や歴史的資源への配慮 など） ・新築建物における周辺の街並みと調和した建物の表情線の創出（隣接建物と調和した低層部の軒高やオープンスペースの創出 など） 			
	屋外広告物の掲出にあたっては大通沿道の景観に配慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大通公園にふさわしい屋外広告物の規制、誘導 			

将来像 ⑩	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【みどり】大通公園を中心に連続的にみどりの空間が形成されている	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ	
	周辺のまとまったみどりや大通公園とのネットワーク強化を図り、みどりの質と量を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川以東まで波及させる連続性のある空間の創出 			
	大通と沿道のみどりとの一體的な繋がりを創出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりととの繋がりを創出するための中低層部の設えの工夫 ・大通と沿道との繋がりを強化する街路樹などのみどりの強化 ・一体感のあるみどりを創出する民間開発や公園などとの連携 ・道路空間などを活用した実証実験 			

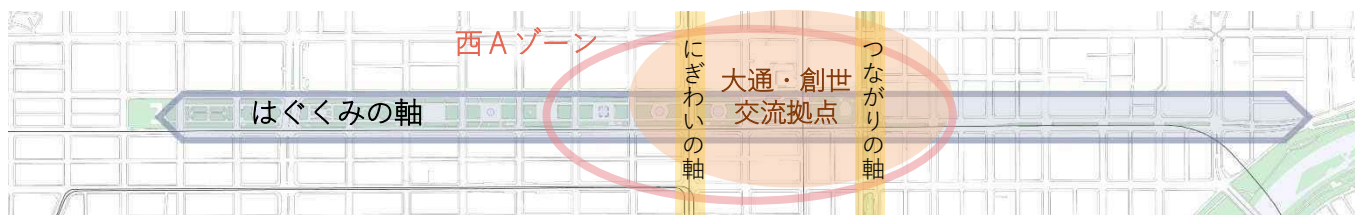
持続可能なまちづくり

将来像 ①	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【脱炭素化】2050年のゼロカーボン都市の実現に向けた先進的な取組が進められている	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ
	a 建物の環境性能向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 地域材を積極的に取り入れた建物内外装の木質化 札幌都心E!まち開発推進制度を通じた開発における脱炭素化の取組の促進 			
		<ul style="list-style-type: none"> 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充 		<ul style="list-style-type: none"> 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充 各建物へのBEMS、エネルギーセンターを核としたAEMSの導入の促進 	
		<ul style="list-style-type: none"> 事業所における省エネルギー機器への転換 			

将来像 ②	取組の方向	ゾーン毎に想定される主な取組			
		西C	西B	西A	東
【防災】大通の防災機能が強化されている	取組の方向	都心西側の回遊拠点を形成し 美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ	居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う 都市の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ	育んできた価値と新しい価値が融合した 世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点を はぐくむ	創成東地区の資源と創成川以西の活力を活かした 創造性豊かな職・住環境と人にやさしく歩きたくなるまちなかを はぐくむ
	a 施設の防災性向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に活用できるパブリックスペースの創出 			
		<ul style="list-style-type: none"> 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充 		<ul style="list-style-type: none"> 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充 各建物へのBEMS、エネルギーセンターを核としたAEMSの導入促進 	
		<ul style="list-style-type: none"> 建物の耐震化の推進 			
		<ul style="list-style-type: none"> 大通公園の防災機能の強化 			
				<ul style="list-style-type: none"> 地下街の防災性向上 	
	b 地域主体の防災の取組を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 地域主体の防災に関する取組の強化（防災計画の策定など） 			
				<ul style="list-style-type: none"> エリアマネジメント団体による防災訓練の実施 	

第5章 重点的に進める取組

1. 大通・創世交流拠点における象徴的空間の創出



- 「はぐくみの軸」は、都心の南北を貫く都心まちづくりの骨格軸である「にぎわいの軸（駅前通）」及び「つながりの軸（創成川通）」と交差しており、第2次都心まちづくり計画では、これらの交点周辺を「大通・創世交流拠点※」として位置付け、「都心における象徴的な都市文化拠点の創出」や「骨格軸を介した東西・南北市街地の連携・結びつきの強化」などを目指して行くこととしています。
- 「大通・創世交流拠点」は「西Aゾーン」に含まれていますが、当該ゾーンでは、民間主体の開発が進んでいることに加え、札幌市時計台、さっぽろテレビ塔、大通公園、創成川公園などが集積しており、札幌市役所本庁舎が立地する街区などの市有地も含まれていることから、これらの環境を活かしたまちづくりが進んでいく可能性があります。
- 「大通・創世交流拠点」を含む「西Aゾーン」では、周辺の環境を活かしつつ市有地の活用を検討し、民間開発と連動しながら、象徴的な都市空間を創出する取組を推進していきます。

当面の取組

- 街区間の連携を考慮した複数街区における連鎖開発
- 大通公園東側の新たな象徴空間となるオープンスペースの創出
- 大通西1丁目、大通西2丁目街区などの市有地の利活用の検討
- 札幌市時計台、さっぽろテレビ塔、大通公園、創成川公園などを活かした都市空間の形成

※大通・創世交流拠点：第2次都心まちづくり計画で定める交流拠点（新たな活動や交流を生み出し都心全体のまちづくりを先導する拠点）の一つ。「質の高い文化的なライフスタイルを支える機能・空間の形成」を展開指針とし、「都心における象徴的な都市文化拠点の創出」「札幌の顔となる大通を基軸とした多様な活動、交流の創出」「骨格軸を介した東西・南北市街地の連携・結びつきの強化」などを目指す。

2. 大通公園を中心とした東西方向へのまちづくりの波及

● 知事公館、近代美術館



- 大通公園の西端を含む西Cゾーンでは、「都心西側の回遊拠点を形成し、美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ」ことを目指していますが、西Cゾーンのさらに西側には北海道知事公館や北海道立近代美術館といった貴重なみどりがあり、「はぐくみの軸」のまちづくりの効果が波及していく可能性があります。
- 一方、大通公園より東側では、大通公園から続くパブリックスペースが創成川公園で途切れていることなどから、創成川より西側の活力を東ゾーンへつなげ、さらには豊平川まで引き込んでいくことが課題となっています。
- そのため、大通公園を中心とした東西へまちづくりの動きを波及させていくため、「はぐくみの軸」を強化します。

当面の取組

- 大通公園西周辺エリア※のまちづくりビジョンの策定
- 地域特性を踏まえたさっぽろ芸術文化の館跡地の利活用の検討
- 創成川以西のにぎわいを創成川以東まで波及させる連続性ある空間の形成
- 東4丁目通の整備に合わせた南北の回遊性の向上

※大通公園西周辺エリア：第2次都心まちづくり計画上の都心まちづくりのためのターゲット・エリアの一つ。

3. 道路空間の利活用の検討

- 現在、大通公園の沿道では路上駐車が多く、また、大通公園内の活動を沿道側の建物に取り込むなどの大通公園側と沿道側の機能的な連携は十分に図られておらず、大通公園と沿道の一体感が欠けています。
- また、近年、地域課題の解決と新たな価値の創造のため、多様な人々が集まり、交流を促進させることが重要であるといった観点から、「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」が注目されており、札幌市の最上位計画である第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンにおいても、その重要性を位置付けています。
- 「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」を実現していくための手法の一つとして、国内外において、道路空間の利活用が進められています。
- 「大通公園と沿道の一体感の向上」や「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」を進めていくため、必要な調査のほか、官民協働で実証実験などを実施し、課題や効果などを慎重に検証しながら、道路空間の利活用を検討していきます。

当面の取組

- 官民連携による道路空間を活用した実証実験と必要な調査の実施
- 実証実験を踏まえた施策の検討、推進

(イメージ写真など)

4. 地域の取組の連鎖

- 現在も、「はぐくみの軸」では、地権者が中心となったまちづくりの動きや、まちづくり団体が進めるエリアマネジメント活動など、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいますが、「はぐくみの軸」の将来像を実現していくためには、まちづくりに関わる市民・企業・行政等が、本方針に沿って協働して取組を進めて行くことが重要です。
- 今後、札幌市は、引き続き市民・企業等の主体的な地域の取組と協働していくことはもとより、新たな地域の取組を醸成し、積極的に促進していきます。
- そして、官民協働の地域の取組が「はぐくみの軸」上で連鎖して展開していくことで、将来像の実現を目指していきます。

当面の取組

- 地域主体のまちづくりの勉強会等の支援
- 地区ごとのまちづくりルール※の策定に向けた誘導、調整
- 地区ごとのまちづくりルールなどを踏まえた都市計画制度の活用

※地区ごとのまちづくりルール：札幌市が定めたエリアマネジメントを念頭に置いたまちづくりルール等

(イメージ写真など)

第6章 取組の推進にあたって

6-1. 官民協働によるまちづくりの展開

はぐくみの軸の将来像を実現していくためには、まちづくりにかかわる市民、企業、行政等が、本方針に沿って協働して取組を進めて行くことが重要です。

市民、企業、行政等が、本方針の「目指すべき将来像」を共有し、「取組の方向」を踏まえて具体的な取組を進めていきます。また、必要に応じて官民連携で公共空間を活用した実証実験などを行い、課題や効果などを慎重に検証しながら、段階的に取組を進めていきます。

6-2. 取組の推進

方針に基づく取組の推進にあたっては、この方針（Plan）に基づく具体的な取組を展開し（Do）、その結果を検証して（Check）、必要な改善（Action）を行っていきます。

